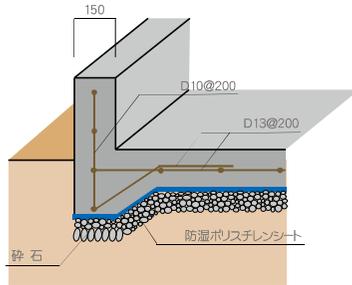


## ■ ベタ基礎

強固なベタ基礎、基礎幅 150mm を採用し、耐久性や強度に優れた家づくりを心がけております。いつも安心して暮らせる住宅を提供し続けます。



## ■ 集成材の特徴

### <特徴>

従来木材(無垢材)とEW(エンジニアングウッド)を比較すると、無垢材は狂いが生じ変形(伸縮)し易いので、造作後多部に渡ってヒビ、すきま、床なり等の問題が生じ易い。EWを使用する事で、それを、低減する事が出来ます。

### <耐久性>

集成材に使用される接着剤は、性能向上により監理条件が整えば、半永久保つことが可能です。

### <防火性能>

断面積を大きくする事により、1,000㎡以上になっても必要強度が保たれます。

## ■ プレカット



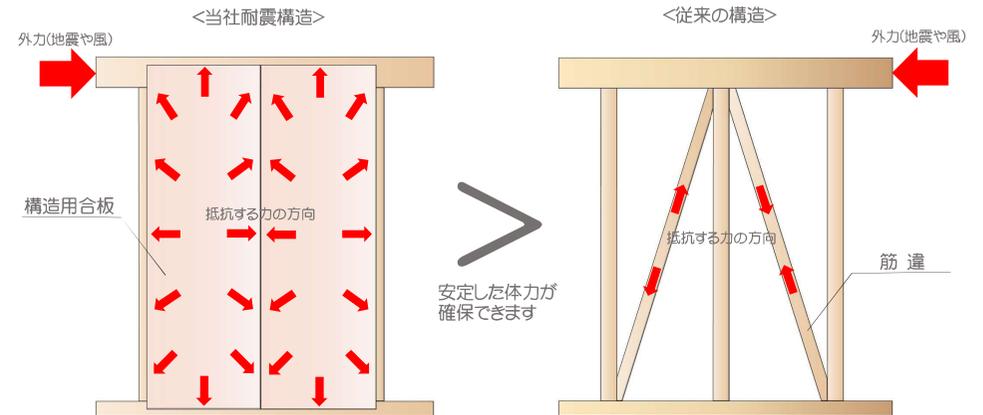
骨組み加工はプレカットを採用し、高度なクオリティーをもつ住宅を、より短時間で供給出来るよう努力をしております。プレカットにより加工の均一化が可能となり、制度において0.1mmの正確さまでコントロール出来ます。工場生産をする事で、職人による品質誤差を解消し、均一の商品を提供致します。

### <接合金物>



- タム木どめ
- 腰高羽子板
- 幅広短冊金物
- ビスどめ  
ホールダウン
- スリムプレート
- スジカイプレート
- ホールダウン  
コーナー
- フラットプレート

## ■ 耐震構造



外部からの力に対して、外壁面に貼られた面材(構造用合板)により、バランスよく分散し、大きな力に対しても、抵抗する事が出来ます。

外部からの力に対して、線状に配置された筋違が抵抗力を生み出します。局部的に大きな外力が掛かると、筋違が破損する場合があります。

## ■ 在来軸組み工法

日本古来より受け継がれた工法で、柱、梁を組み上げ基本の構造をつくり、現代では耐震、耐風力確保の為に、筋違の配置と共に、外壁面には構造用合板を施工し、強度とバランスの良さを兼ね備えた工法です。

